



創誠健和



旭川中学校 学校通信 11月号

令和6年11月29日発行

学力テスト・定期テスト終了！

学校での学びは何に役立つのか？



将来、学校での学びが何に役立つのか？という素朴な疑問を思い浮かべたことがある人は多いと思います。中学校では、平日、学校に登校し、5～6時間の授業を受け、年間1050時間程の学習をしています。

最近、コンビニやスーパーで買い物をしたとき、セルフレジが増えていることに驚きます。また、スマホには世界中の言語を自動翻訳できるアプリなどもあります。今、時代は急加速度的に便利な世の中をめざして変化しています。将来、子どもたちが大人になり仕事をするときには、基本的な計算ができなくても、英語がわからなくても困ることなく生活ができそうな感じです。それでは、なぜ、人は

学ぶ必要があるのでしょうか？現在、世界をリードしている人工知能の生成AIに学ぶ理由を尋ねてみました。

1 知識とスキルの基盤

- (1) **専門知識**⇒学校で学ぶ基礎的な知識が、将来の専門分野やキャリアの土台となります。例えば、数学や科学の知識はエンジニアや医師に必要不可欠です。
- (2) **技術スキル**⇒語学やコンピュータのスキルなど、具体的な技術は多くの職業で重宝されます。

2 批判的思考と問題解決

- (1) **論理的思考**⇒学校の授業や課題を通じて、問題を分析し、解決するための論理的思考力を養います。
- (2) **決断力**⇒情報を整理し、最適な決断を下す能力は、仕事や日常生活で重要です。

3 社会的スキルと人間関係

- (1) **コミュニケーション**⇒グループ学習やプレゼンテーションを通じて、効果的なコミュニケーションスキルを身につけます。
- (2) **チームワーク**⇒協力して目標を達成する経験は、職場や社会活動で役立ちます。

4 自己管理と責任感

- (1) **時間管理**⇒課題や試験の締め切りを守ることで、時間を効率的に管理する能力を培います。
- (2) **責任感**⇒学校生活を通じて、自分の行動に責任を持つことの重要性を学びます。

5 人生の方向性と価値観

- (1) **興味の発見**⇒さまざまな科目や活動を通じて、自分の興味や関心を見つけることができます。
- (2) **価値観の形成**⇒道徳や倫理の授業、あるいは文化的な活動を通じて、個人の価値観が形成されます。

6 学びの楽しさを知る

- (1) **未知の知を知る**⇒新しい世界を発見し、自分を成長させて可能性を広げることになります。

学校での学びは、将来の仕事や人生に役立つだけでなく、日常生活で役立つ力を育ててくれるものです。上記6つの要素が組み合わさることで、学校での学びは単なる知識の獲得にとどまらず、総合的な人間力を養う重要なプロセスとなります。学びの中で得た経験やスキルは、子どもたちが大人になって社会で活躍するための土台になります。

社会の変化が激しく、科学技術等が進展する時代において、新しい学びの姿として、学校では一人一台のタブレット端末が文房具として授業や家庭学習の中で利活用されています。これからの時代を生きていくのは子どもたちだけではありません。大人の親も教師も同様に、積極的に学び続けることが必要な時代であり、子どもたちのロールモデル(考え方や行動・行動などが自分にとって模範となる人物)になることが求められています。



義務教育9年間を見通した

小中連携・一貫教育の実践

旭川小学校と旭川中学校は、市内小中学校で唯一の一体型校舎であり、小中連携・一貫教育のモデル事業校に指定されています。本校では、子ども一人一人の学力の向上や人間形成を図ることを目的として、9年間を見通した系統的な教育活動や、小学校から中学校への円滑な接続を目指す教育に取り組んでいます。

そのため、1年間に数多くの小中連携の取組が行われています。子どもたちの取組だけではなく、先生方の授業交流や研修活動等も活発に行われています。また、小中連携・一貫教育をより強固な実践とするために、これまで行ってきた中学校教員が小学生の授業をする出前授業を発展させ、昨年度から、中学校の体育教師が、小学校の5・6年生の体育の授業を専科指導者として1年間担当し、体力や技術の向上とともに、中1ギャップの解消につながるよう実践を積み重ねているところです。取組の一部ですが、ご紹介します。



学びの広場7/26



小中交流ドッチボール9/4



合唱コンクールに6年生招待9/27



森先生による6年生合唱指導10/16



いじめノックアウト10/30



小中図書室交流11/18～29

このように旭川小学校と中学校の子どもたちは、小学生が中学生の振る舞いを見ながら未来の自分の姿を思い描いて育っていきます。また、中学生にとっては、自分たちの取組が小学生の役に立っているというという自己有用感を育むことにつながっており、両者にとってWin-Winの関係が成り立っています。

小中連携・一貫教育の実践は、本校の特色であり、とても大きな強みです。今後も工夫しながら継続していきます。



【注意喚起】SNSのトラブル防止

◎お子様のスマホの使い方は大丈夫ですか？SNSのトラブルが急増しています！

□現在、多くの生徒がスマホを持っています。便利な道具ですが、使い方を間違えると犯罪に巻き込まれたり、気づかぬうちに犯罪行為をしてしまっている危険があることを理解する必要があります。

- ・連日のように、ニュースや新聞などでは、「闇バイト」について、SNSを通じた犯罪に巻き込まれる若者のトラブルが社会問題になっているという話題が報じられています。
- ・SNSのトラブルは学校で対応することが困難なため、警察に通報して対応することになっています。特に、友達等の顔写真などが特定される画像や個人情報等のデータを、SNS上にアップしてしまった場合は、データの拡散を防ぐために警察に対応してもらう必要があるからです。それでも一度、ネットに上がった情報は完璧に消去はできません。

★ご家庭の判断や責任で持たせているお子様のスマホ利用について、再度、ご確認ください！学校では情報モラル教育や情報活用能力の育成に力を入れています。